

令和7年3月13日

大臣官房官庁営繕部計画課

保全への取組状況が良好な庁舎等の割合は高水準を維持

「国家機関の建築物等の保全の現況」を公表

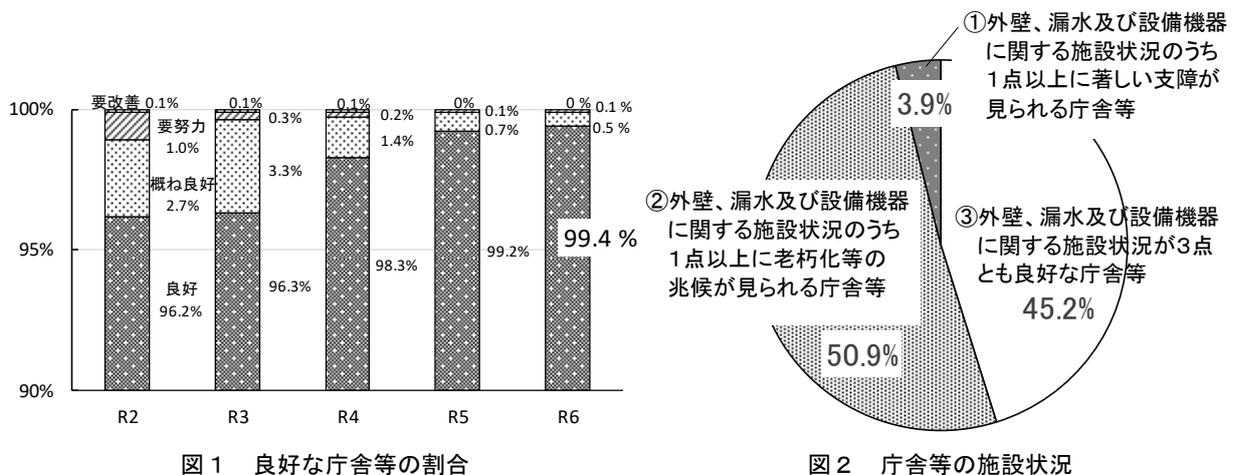
今年度の保全実態調査では、保全への取組状況が良好な庁舎等の割合は99%超（昨年度から0.2ポイント上昇）と高水準を維持していましたが、施設の状態としては、著しい支障が見られる庁舎等も一定数存在しました。

国土交通省では、国家機関の建築物及びその附属施設の適正な保全に資するため、全ての官庁施設を対象に毎年度、保全の実態を調査しており、その結果を「国家機関の建築物等の保全の現況」として公表しています。

今年度調査では、庁舎等^{※1}における保全への取組状況が良好な施設^{※2}の割合は99.4%（図1）であり、引き続き高水準を維持していました。

※1：官庁施設のうち、宿舎以外の施設

※2：「保全の体制、計画及び記録等」、「点検等の実施状況」及び「施設の状態」の各評価項目の平均点が80点以上の施設



他方で、築後30年以上の官庁施設の割合は上昇傾向（R6.3末で53.9%）にあり、「施設の状態」としては、著しい支障が見られる庁舎等の割合が3.9%（図2：①）、老朽化等の兆候が見られる庁舎等の割合が50.9%（図2：②）となるなど、今後、修繕等が必要な施設の増加が懸念されます。

「国家機関の建築物等の保全の現況」の全文は、次の国土交通省ホームページを御参照ください。

https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk3_000005.html

【問合せ先】大臣官房官庁営繕部計画課保全指導室

齋藤（内線23314）、新井（内線23321）

代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8248